

独立行政法人水資源機構 決算等説明資料



平成28事業年度決算のポイント

(1)総資産は、3,649,626百万円(前年度比3.9%減)

<トピック>

①丹生ダムの事業実施計画廃止の認可を反映

- ・建設仮勘定計上額を水没予定地を除き全額減損処理(減損額合計56,022百万円)、水没予定地は減損後の額を土地へ計上。
⇒これらの影響もあって、建設仮勘定は対前年比8.3%減。

②保有の必要性の検証などにより不要と判断した資産について、減損の認識を行った。

- ・減損額は6,170百万円。
⇒これらの影響もあって、事業用固定資産は対前年比2.5%減。

③本社と関西・吉野川支社の宿舎、研修所の売却処分により、一般管理用固定資産が対前年度比20.0%減

④通則法による不要財産の国庫納付

- ・出資財産(一般管理用):完了1件(納付額44百万円、減資143百万円)、未了3件(納付額2,611百万円、減資1,596百万円)
- ・事業用:納付額304百万円(うち未払124百万円)〈臨時損失計上〉

(2)資本金は、143百万円減額し、7,349百万円

独立行政法人通則法の規定に従い、出資財産である研修所の売り払いに伴い国庫納付を行ったことによる。

※3つの宿舎については国庫納付が未了のため、納付が行われる29年度に減資する予定(減資額1,596百万円)

(3)当期総利益は、3,511百万円(前年度比1,069百万円増)

- ・財務収支差の影響(H27:2,545百万円→H28:2,937百万円、391百万円の増)。
- ・退職給付費用(引当金への繰入額)が△529百万円(戻入、マイナス費用)となった。
⇒厚生年金基金の将来部分の代行返上を反映したことなどが要因



平成28年度の決算概要

1. 貸借対照表
2. 主要な資産の動向
3. 主要な負債の動向
4. 利益剰余金の動向
5. 損益計算書
6. キャッシュ・フロー計算書

1. 貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	H28末	H27末	増減
I 流動資産	95,084	99,501	△ 4,416
現金及び預金	38,532	48,459	△ 9,927
有価証券	18,100	12,299	5,800
割賦元金	37,449	37,098	351
その他(未収金等)	1,002	1,643	△ 641
II 固定資産	3,554,542	3,698,175	△ 143,633
事業用固定資産	2,903,969	2,978,429	△ 74,459
建物	26,107	27,595	△ 1,487
構築物	2,647,262	2,714,906	△ 67,644
機械装置	70,783	72,522	△ 1,739
土地	152,122	155,634	△ 3,512
その他(工具器具備品等)	7,693	7,770	△ 76
一般管理用固定資産	7,814	9,773	△ 1,959
建設仮勘定	259,182	282,497	△ 23,314
投資その他の資産	383,575	427,474	△ 43,899
投資有価証券	11,117	11,279	△ 161
割賦元金	366,015	410,196	△ 44,180
その他(長期前払消費税等等)	6,442	5,999	443
資産合計	3,649,626	3,797,676	△ 148,049

負債の部	H28末	H27末	増減
I 流動負債	65,247	67,285	△ 2,037
一年内償還予定水資源債券	6,000	5,700	300
一年内返済予定長期借入金	40,463	40,758	△ 295
その他(未払金等)	18,784	20,826	△ 2,042
II 固定負債	3,507,853	3,651,037	△ 143,183
資産見返負債	3,144,254	3,243,117	△ 98,863
資産見返補助金等	2,903,238	2,977,642	△ 74,403
建設仮勘定見返補助金等	230,729	244,463	△ 13,733
資産見返仮勘定	10,286	21,011	△ 10,725
水資源債券	10,000	12,000	△ 2,000
長期借入金	310,770	350,901	△ 40,131
退職給付引当金	42,631	44,815	△ 2,183
その他(受託事業前受金等)	197	203	△ 6
負債合計	3,573,101	3,718,322	△ 145,221

純資産の部	H28末	H27末	増減
I 資本金(政府出資金)	7,349	7,492	△ 143
II 資本剰余金	△ 574	△ 1,448	873
III 利益剰余金	69,751	73,310	△ 3,559
純資産合計	76,525	79,354	△ 2,828
負債・純資産合計	3,649,626	3,797,676	△ 148,049

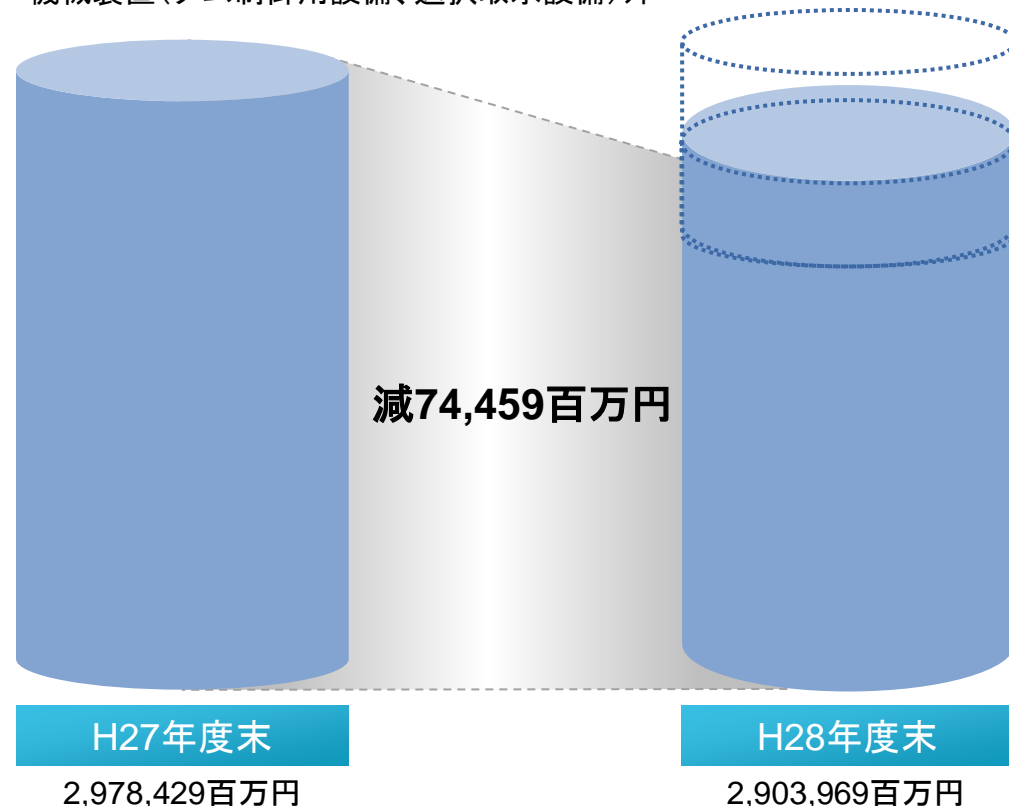
(注)百万円未満は切り捨てとしている。

2. 主要な資産の動向 (1)

① 事業用固定資産

- 形態別に分類し計上

- 構築物(ダム、水路、堰本体)
- 建物(管理事務所、管理用宿舎)
- 機械装置(ダム制御用設備、選択取水設備)外



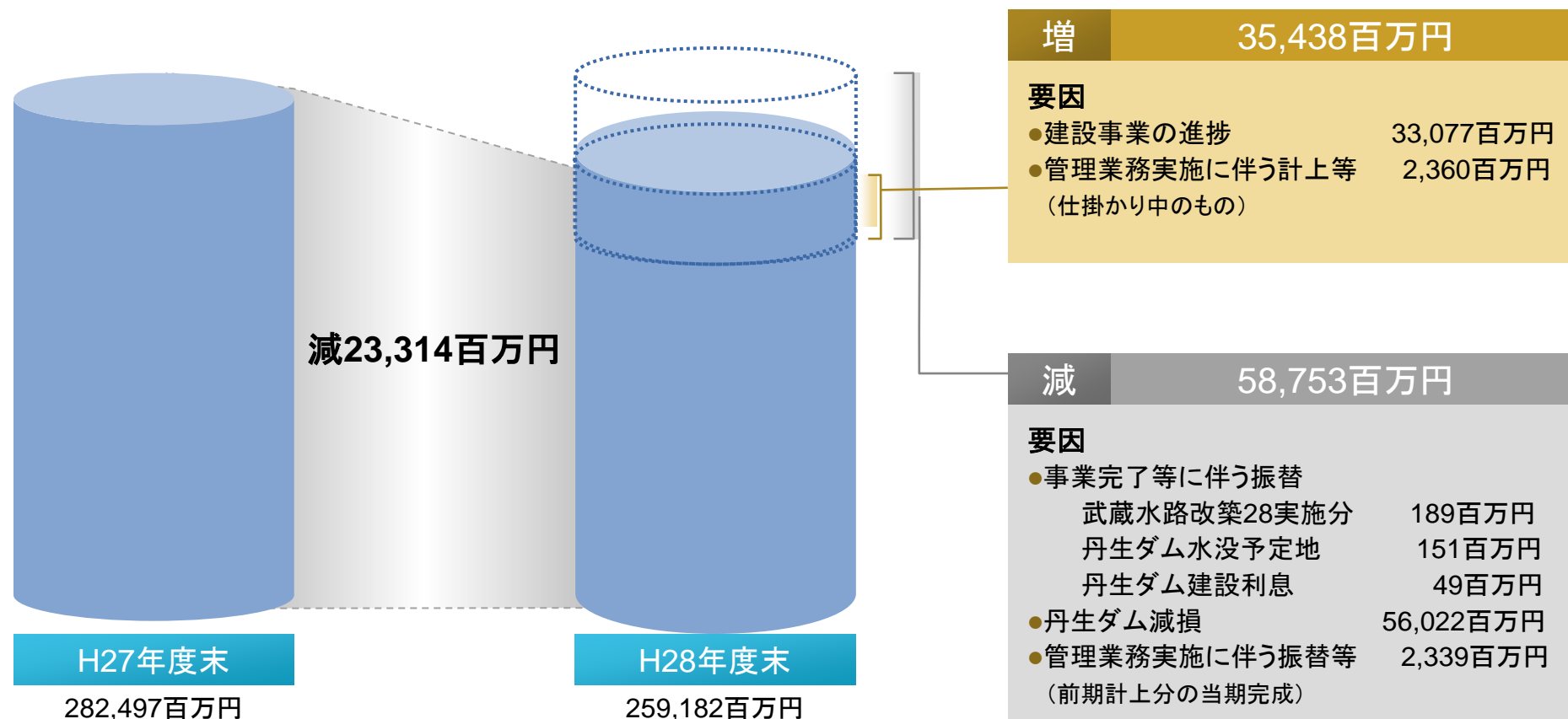
(注) 単位未満は切り捨てとしている

増	7,159百万円
要因	
● 管理業務等の実施に伴う取得	3,583百万円
● 積立金活用による取得	3,240百万円
● 事業完了・廃止に伴う振替	
武蔵水路改築28実施分	185百万円
丹生ダム水没予定地	151百万円
減	81,619百万円
要因	
● 減価償却	74,038百万円
● 除却	1,410百万円
● 減損	6,170百万円

2. 主要な資産の動向 (2)

② 建設仮勘定

- ダム・用水路等の新築・改築事業等の実施に係る経費（建設利息を含む）等を計上

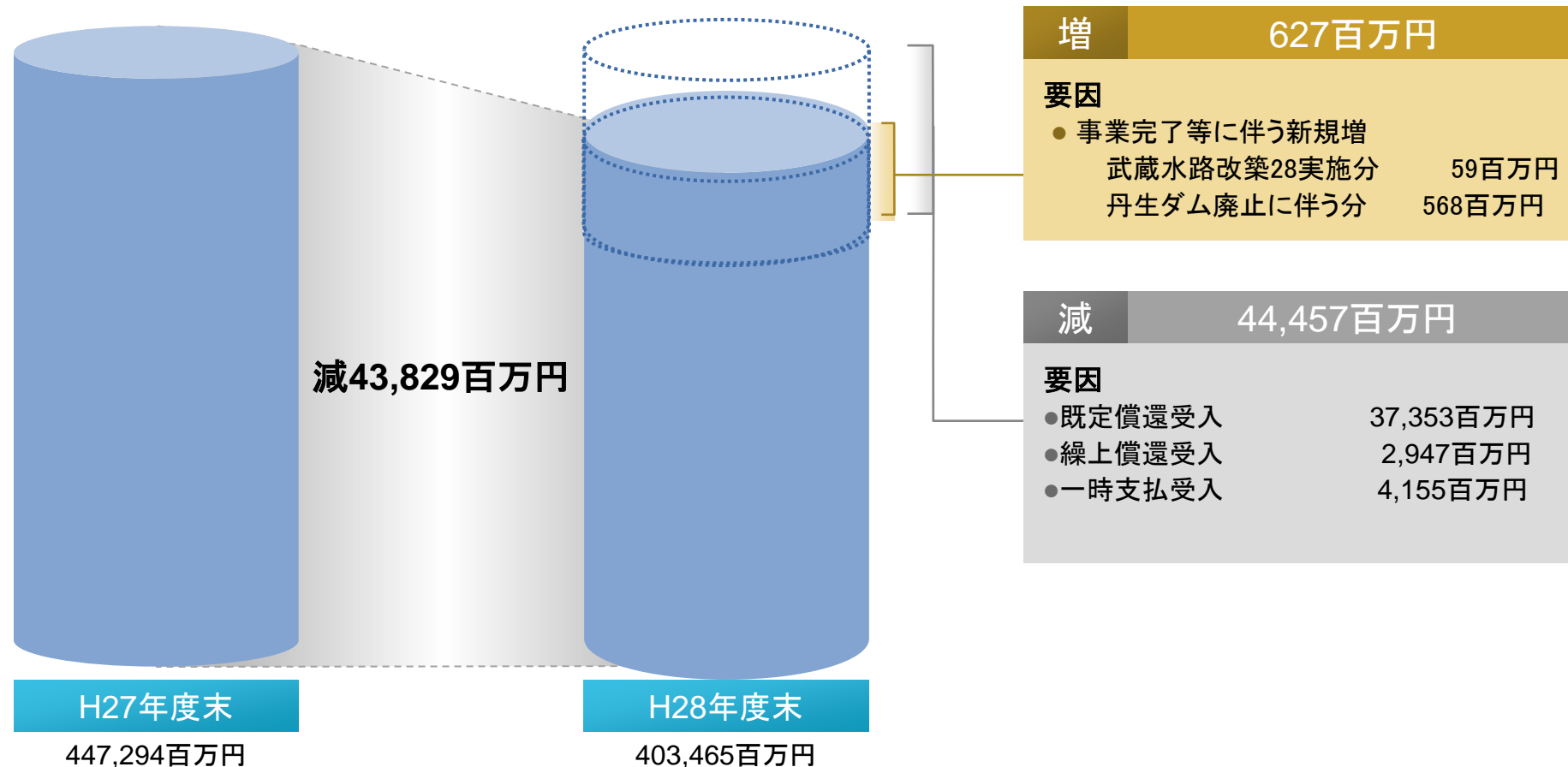


(注) 単位未満は切り捨てとしている

2. 主要な資産の動向 (3)

③ 割賦元金

- 新築・改築事業に借入金等を充当し、事業完了後利水者より割賦等償還を受けることとなる金額を計上

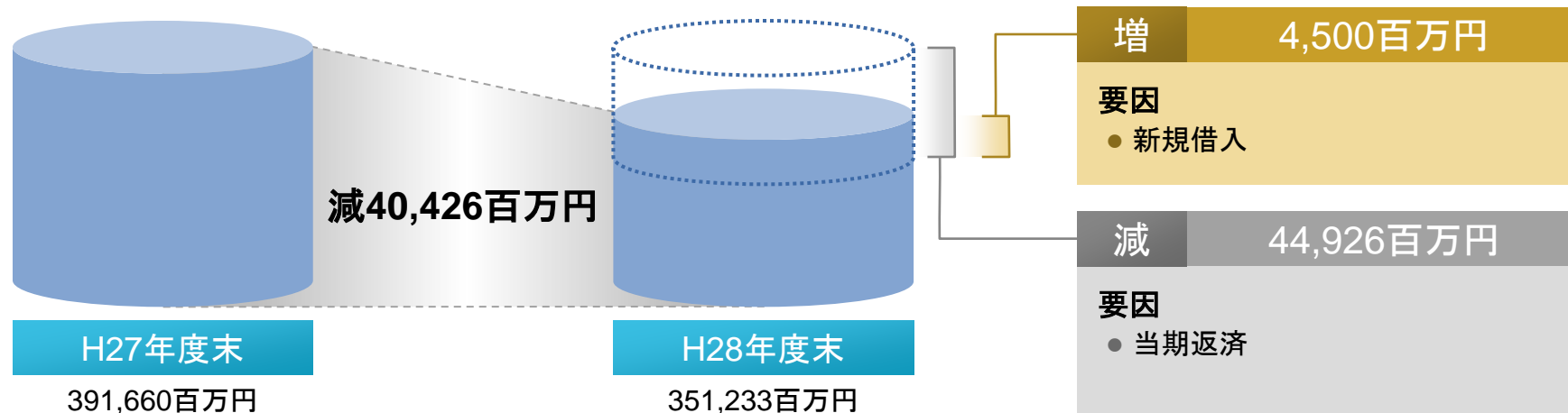


(注1) 単位未満は切り捨てとしている

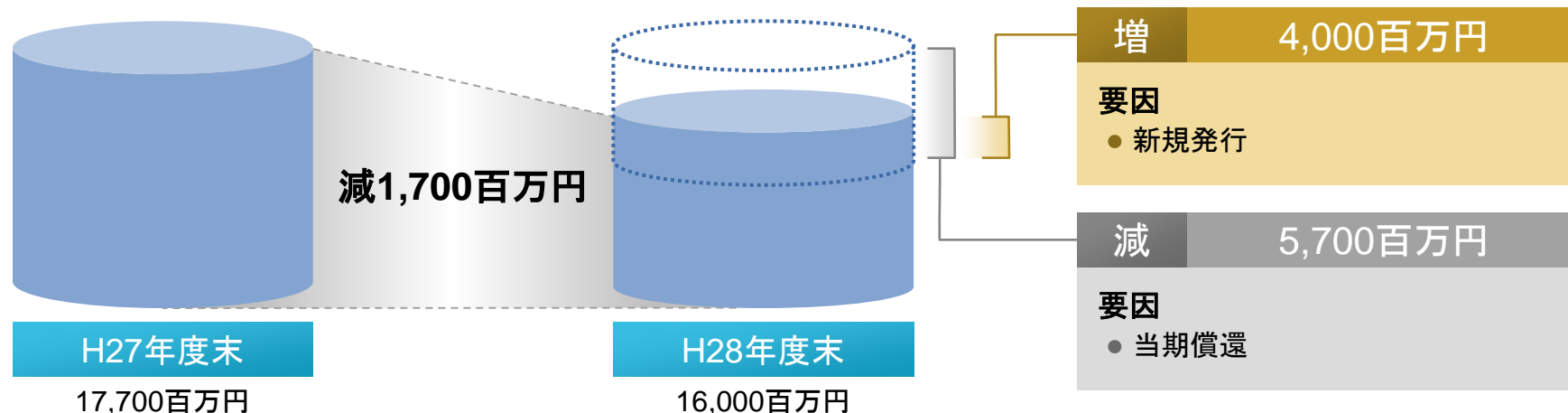
(注2) 流動資産と固定資産に計上している金額の合計を記載

3. 主要な負債の動向(1)

④ 長期借入金(財政融資資金等)



⑤ 水資源債券



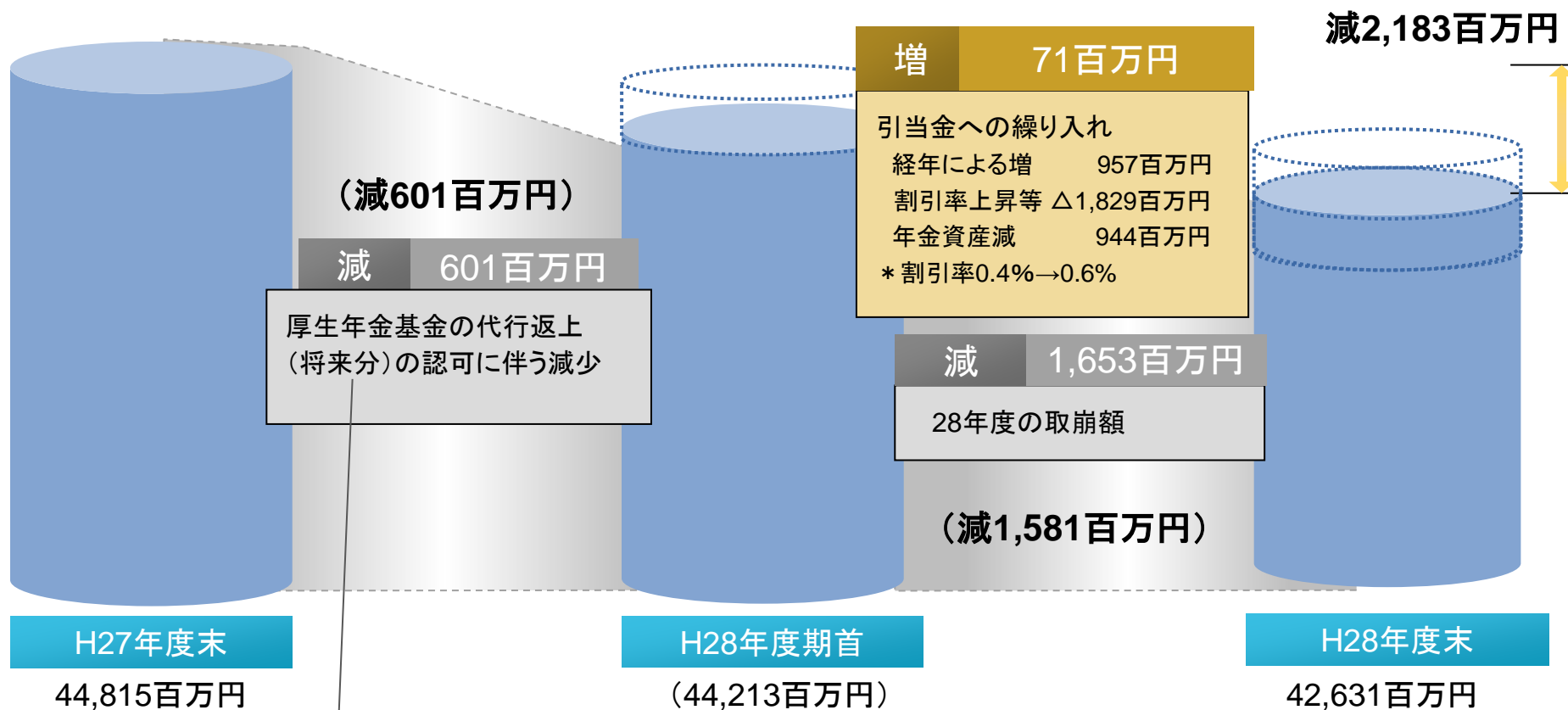
(注1) 単位未満は切り捨てとしている

(注2) 流動負債と固定負債に計上している金額の合計を記載

3. 主要な負債の動向(2)

⑥ 退職給付引当金

- 役員へ支給する退職手当、厚生年金基金から支払われる年金給付などに係る引当金を計上

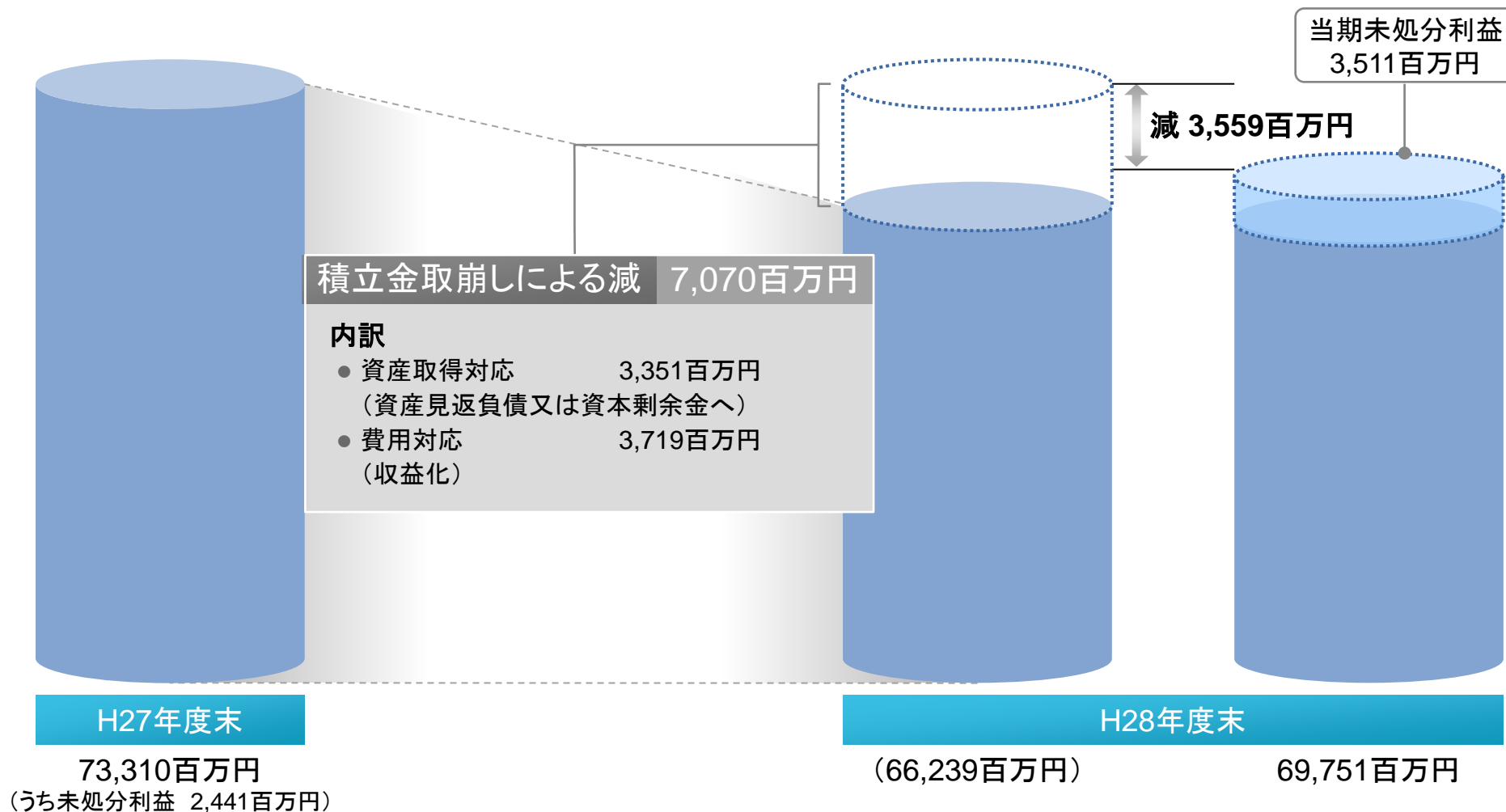


(注) 単位未満は切り捨てとしている

H29.5.1付けで認可を受けた過去返上分については、29事業年度決算で反映される。
利益見込額(引当金減額): 18,032百万円

4. 利益剰余金の動向

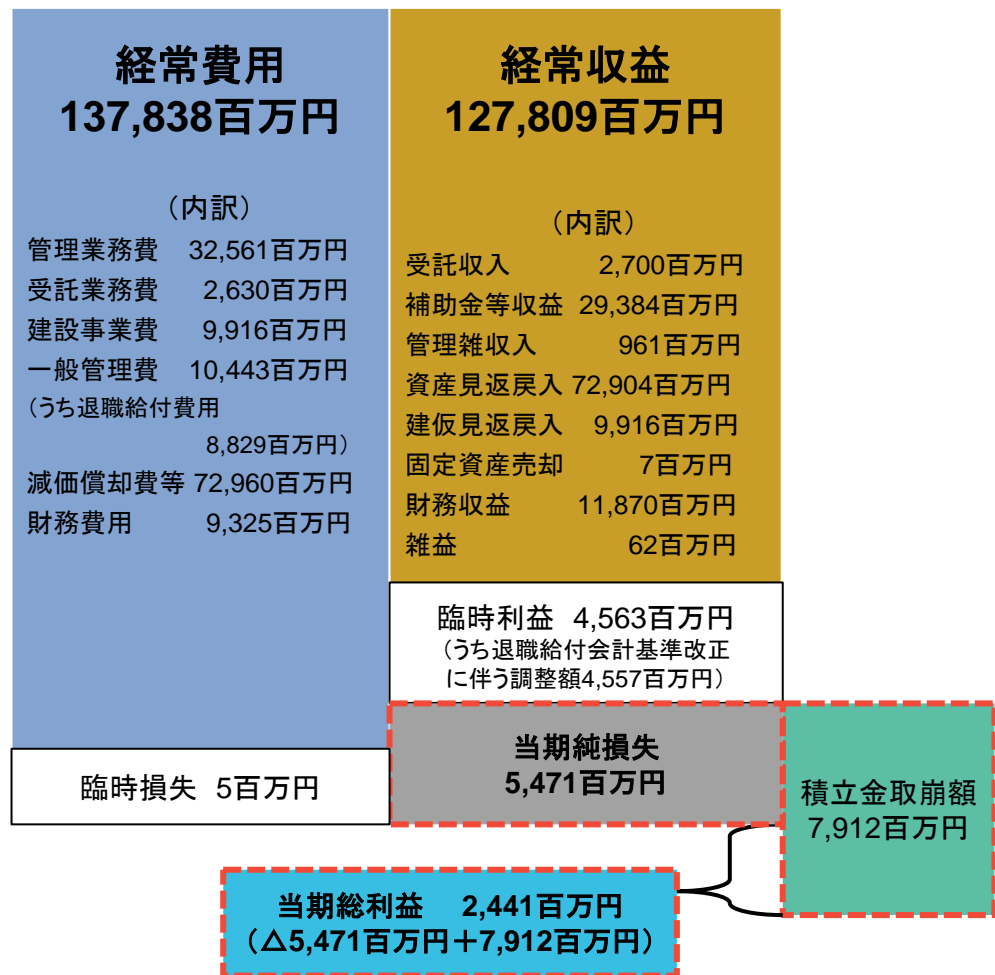
利益剰余金



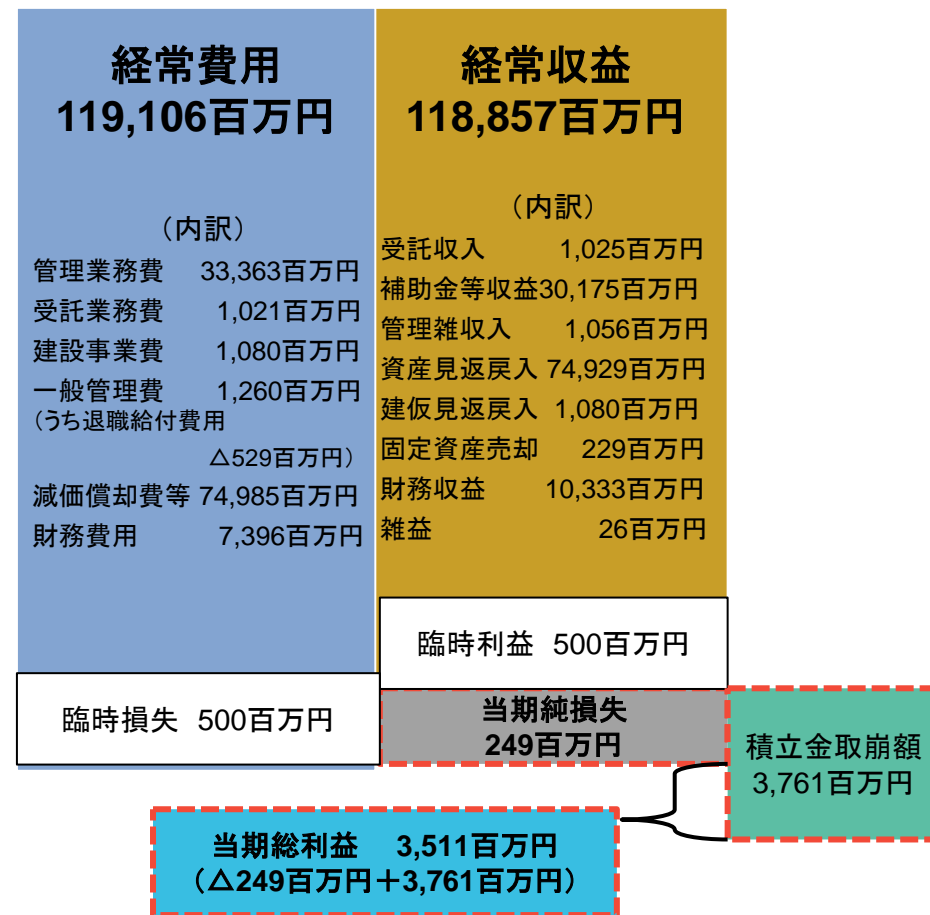
(注) 単位未満は切り捨てとしている

5. 損益計算書(1)

平成27年度



平成28年度



(注) 単位未満は切り捨てとしている

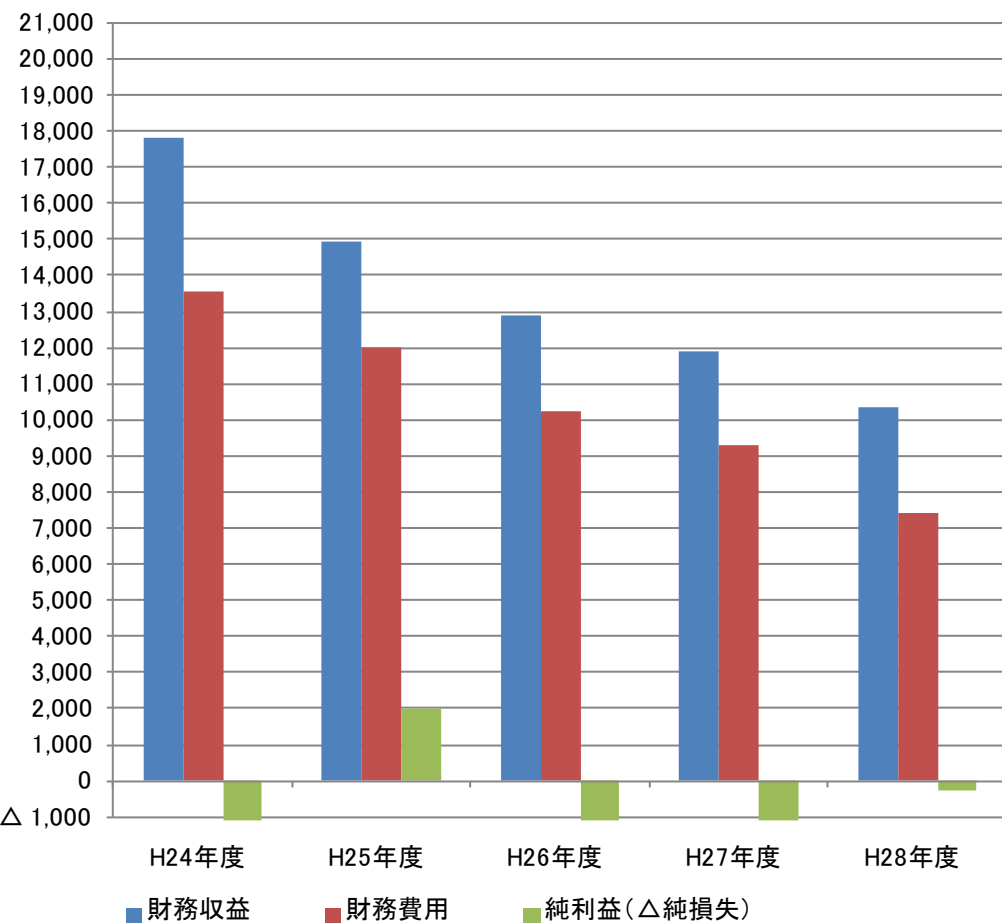
臨時損失	臨時利益
・固定資産売却損 195百万円	・固定資産売却益 124百万円
・国庫納付金 304百万円	・資産見返戻入 375百万円

5. 損益計算書 (2)

純利益等財務データの推移

(単位: 百万円)

(単位: 百万円)



(注) 単位未満は切り捨てとしている

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
経常収益	129,399	119,489	119,331	127,809	118,857
財務収益 ①	17,831	14,961	12,902	11,870	10,333
経常費用	130,553	117,493	123,615	137,838	119,106
財務費用 ②	13,560	11,982	10,251	9,325	7,396
財務収支差①-②	4,270	2,979	2,650	2,545	2,937
臨時損益	0	0	0	4,557	0
純利益(△純損失)	△ 1,153	1,995	△ 4,284	△ 5,471	△ 249
退職給付費用(△)等 ③	△ 1,309	1,927	△ 2,434	△ 4,271	529
積立金取崩額	4,987	3,982	6,730	7,912	3,761
退職給付引当金負担軽減積立金 ④	0	0	2,461	4,271	0
当期総利益(△当期総損失)	3,834	5,977	2,446	2,441	3,511
退職給付費用の影響 ③+④	△ 1,309	1,927	27	0	529
利益剰余金	90,811	90,746	82,857	73,310	69,751

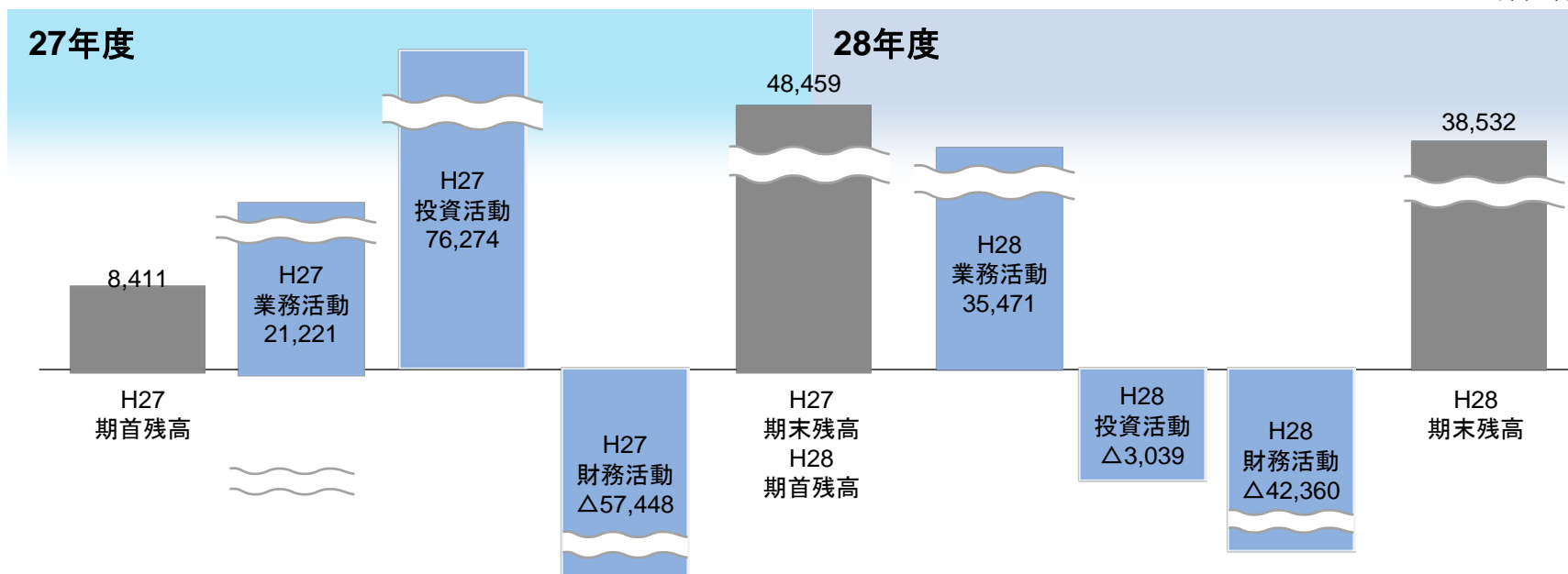
(注) 27年度に計上した臨時損益は「退職給付会計基準改正に伴う調整額」である。

6. キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	27 年 度			28 年 度		
	イン	アウト	フロー	イン	アウト	フロー
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	130,799	△ 109,577	21,221	128,353	△ 92,881	35,471
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	404,845	△ 328,570	76,274	100,939	△ 103,978	△ 3,039
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	15,487	△ 72,935	△ 57,448	8,491	△ 50,851	△42,360
IV 資金に係る換算差額			0			0
V 資金増加額			40,047			△ 9,927
VI 資金期首残高			8,411			48,459
VII 資金期末残高			48,459			38,532

(単位:百万円)



(注) 単位未満は切り捨てとしている

- 本資料は、当機構の決算等について投資家等の皆様に情報を提供することを目的とするものです。
- 本資料の内容については、決算の概要・財務状況等を示すものです。

お問い合わせ先

**独立行政法人
水資源機構 財務部財務課**

〒330-6008

埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2
(ランド・アクシス・タワー内)

TEL 048-600-6533(ダイヤルイン)

FAX 048-600-6530

URL <http://www.water.go.jp>

E-mail webmaster@water.go.jp